

研究実施のお知らせ

2026 年 7 月 25 日 ver.1.0

研究課題名

パーキンソン病における PD-PCS と IASP 疼痛機序分類の一致および不一致に関する探索的研究

研究の対象となる方

2026 年 7 月までに脳神経内科医がパーキンソン病と診断し、身体に 3 か月以上の疼痛を有する者であって、「国際疼痛学会の Grading System に従ったパーキンソン病患者の疼痛の有病率とその特徴に関する研究（研究等管理番号：KS20240523-1、研究責任者：石田修平）」に登録しており、かつ、以下のいずれかの研究に登録している者を対象とします。

- ・「言語的妥当性のある日本語版 The Parkinson's Disease Pain Classification System (PD-PCS) の開発（研究等管理番号：KS20221227-1、研究責任者：石田修平）」
- ・「日本語版 The Parkinson's Disease Pain Classification System の信頼性の検討（研究等管理番号：KS20240522-2、研究責任者：石田修平）」

対象となる方のうち、本研究で使用する情報がすべて取得できていない方は除外とさせていただきます。

研究の目的・意義

現在、パーキンソン病における疼痛メカニズムの分類には、概念的に異なる 2 つのアプローチがあります。

ひとつめの PD-PCS は主に侵害受容性疼痛と神経障害性疼痛のパターンを中心に構成されており、これらのカテゴリーに明確に当てはまらない疼痛は、中枢性／痛覚変調性に分類されます。対照的に、国際疼痛学会（IASP）は肯定的基準を用いて疼痛を侵害受容性、神経障害性、痛覚変調性に分類する診断横断的な段階的枠組みを提案しています。

パーキンソン病に IASP の基準を適用することは、運用上の課題を引き起こす可能性もあります。パーキンソン病患者さんの多くは日常的に鎮痛薬を使用していないことや、パーキンソン病特有の疼痛現象などは、IASP の分類に明確に当てはまらない可能性もあり、その結果、分類不能なグループが生じたり、他の分類への割り当てを招く恐れもあります。こうした背景を踏まえると、PD-PCS と IASP の分類が、どの程度一致し、どのような場面で乖離するのかは、依然として不明です。

本研究をすすめることは PD の疼痛の理解を深め、将来的な PD の疼痛ケアの改善に寄与する可能性があります。

研究の方法

研究はこれまでに実施している研究データを二次利用いたします（「言語的妥当性のある日本語版 The Parkinson's Disease Pain Classification System (PD-PCS) の開発（研究等管理番号：KS20221227-1, 研究責任者：石田修平）」「国際疼痛学会の Grading System に従ったパーキンソン病患者の疼痛の有病率とその特徴に関する研究（研究等管理番号：KS20240523-1, 研究責任者：石田修平）」「日本語版 The Parkinson's Disease Pain Classification System の信頼性の検討（研究等管理番号：KS20240522-2, 研究責任者：石田修平）」）。

情報は、年齢、性別、レボドパ等価量、内服内容、パーキンソン病罹患期間、Hoehn & Yahr 分類、Movement disorder society unified parkinson's disease rating scale, Brief pain inventory, PD-PCS, Wide spread pain, EuroQol-5D-5L, Central sensitization inventory, 過敏性評価, アロディニア評価, Quantitative Sensory Testing 等の評価内容が取得されている方のデータを使用します。名前など個人情報が特定可能なものは削除し取り扱います。

収集したデータは、島根大学医学部リハビリテーション部内の外部から容易にアクセスできない PC に保管いたします。PC にはセキュリティを設定し、パスワードで利用可能な研究者を制限いたします。共同研究先である県立広島大学では、保健福祉学部保健福祉学科理学療法コースにある研究室、また甲南女子大学では、看護リハビリテーション学部理学療法学科にある研究室の PC、乳腺ケア泉州クリニックではクリニック内の PC、新田原聖母病院では、リハビリテーション室内の PC に保管いたします。結果の解釈や考察を共同で行うため、共同研究機関には、患者データを個人が識別できない状態にし、パスワードで保護したものをメールに添付して送付いたします。

研究の期間

2026 年 08 月 20 日～2028 年 12 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究代表者：

島根大学医学部附属病院リハビリテーション部 石田修平

研究機関の長 竹谷健

共同研究機関

県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科

甲南女子大学看護リハビリテーション学部理学療法学科

乳腺ケア泉州クリニック

新田原聖母病院リハビリテーション室

西上智彦

壬生 彰

萬福允博

林 優太

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2027 年 2 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：石田修平

島根大学医学部附属病院リハビリテーション部 石田修平

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2457